



東京都立多摩桜の丘学園学校だより

さくらちゃんNews



令和5年10月16日発行第8号

多摩市聖ヶ丘1-17-1

電話 042-374-8111

発行者 校長 丹野 哲也

一人一人の豊かな表現方法を大切に

校長 丹野 哲也

10月になり、日中は日差しが強いときもありますが、秋らしい涼しい風も吹き、隣接する桜ヶ丘公園や聖ヶ丘商店街での学習活動にも取り組みやすい季節となりました。

先月末をもって、今年度の水泳指導期間を安全に終わることができました。水泳指導期間中には、暑さ指数(WBGT)31以上の危険域に達する日や時間帯もあり、水泳指導を中止し、教室での学習とすることもありましたが、保護者の皆さまの御理解をいただき誠にありがとうございました。また、各部門の宿泊行事や校外学習などについても、保護者の方々の御協力により概ね計画通りに実施することができました。学校行事の実施に際しまして、御準備や健康観察などについてきめ細かい御配慮をいただき感謝申し上げます。

校長は、先月、高等部2年生の石川県への修学旅行に引率をいたしました。宿泊先のホテルの方々からは、本校の生徒に対して「挨拶やお礼がしっかりしている」「明るく、礼儀正しい」などなど、生徒への多くのお褒めの言葉をいただきました。生徒が、一生懸命、気持ちを込めて伝えた言葉が、相手の方の温かい言葉となって表れたと感じています。このような生徒の姿は、本校がこれからも大切にしていきたいと実感しています。自分の気持ちを表現して伝えるということは、これからの社会ますます必要な力となっていきます。今般の学習指導要領でも、子供たちが「表現」する力をしっかりと育むことの重用性が強調されています。その「表現方法」は様々です。言葉だけでなく、動作や表情など、子供たち一人一人がもつ得意な部分を生かした方法を見出し、大事に伸ばさせていくことが本校の教育です。来月には、児童・生徒が楽しみにしている桜祭があります。秋の深まりとともに、一人一人の表現力を豊かにする教育活動を創造してまいります。

OR5 グリナード永山美術展 (9月28日から10月4日)

今年度もグリナード永山の美術展に参加いたしました。御覧いただいた方々から80通を超える感想を寄せていただきました。ありがとうございました。(多目的室前に掲示します)

○第7回学生ボッチャ交流戦が行われました

10月7日(土)、Bumb東京スポーツ文化館で、第7回CACカップ学生ボッチャ交流戦が、都立等の肢体不自由特別支援学校14校22チームが参加し行われました。本校からはチーム「多摩ブロッサムズ」5名の選手が出場。予選リーグを勝ち抜き、3位に入賞しました。表彰式でのチームリーダーのインタビューで、「高等部3年生の最後に入賞できてとても嬉しい」と話していました。会場は大きな拍手で包まれました。保護者の皆さま方の応援とサポートをありがとうございました。

